

授業科目名・形態	公衆衛生看護活動展開論Ⅲ 演習	必修・選択の別	選 択	単位数	1
科目担当者氏名	成田 あさ子	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

保健師の専門性でもある公衆衛生看護活動について知識を深めると共に、地域の健康課題を解決するため、地域の人々が主体的に活動へ参加できるように、セルフヘルプグループの育成から組織化への支援方法、健康を守る各種の住民組織の育成及び住民組織と協働する方法を学ぶ。
また、地域ケアシステム、ネットワークづくり等の健康な地域づくり型保健活動の必要性を理解する。

【到達目標】

1. 地域の健康課題解決に向けた地域組織の育成、支援方法を理解できる。
2. 健康を守る各種の住民組織との協働する方法を理解できる。
3. 健康な地域づくり型保健活動の必要を理解できる。
4. 自然災害における公衆衛生看護管理機能を理解できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 グループ支援の特長と意義
- 第2回 グループ支援と保健師の役割
- 第3回 グループ育成支援と組織化
- 第4回 地域活動への発展と支援者の基本的姿勢
- 第5回 地区組織化活動の定義・沿革・プロセス
- 第6回 地区組織への支援における評価
- 第7回 地域ケアシステムとは (理念・目的・作り方)
- 第8回 地域ケアシステムの発展過程、チームワーク
- 第9回 実習施設におけるグループ・組織化活動
- 第10回 実習施設におけるグループ・組織化活動
- 第11回 災害保健活動 (定義・目的・制度・体制・活動)
- 第12回 演習：自然災害における公衆衛生看護管理機能
- 第13回 演習とまとめ：自然災害における公衆衛生看護管理機能
- 第14回 地域ケアシステムの実際活動
- 第15回 地域ケアシステムの実際活動

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書を読んで講義に臨み、講義後は学修内容を復習する

【主な関連する科目】

「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ」等 公衆衛生看護学の科目および「公衆衛生看護学実習」

【教科書等】

公衆衛生看護学.jp 第4版、インターメディカル、2018.

【参考文献】

最新保健学講座 公衆衛生看護活動論②、メジカルフレンド社
 新版 保健師業務要覧 第3版 日本看護協会出版会
 地域看護学講座④グループ・組織化活動 医学書院
 大規模災害における保健師の活動マニュアル 全国保健師協会、公衆衛生協会
 地域保健スタッフのための「住民グループ」の作り方・育て方 医学書院

【成績評価方法】

前期定期試験の成績 90%、授業態度 10%を総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

市町村の保健師として成人保健、母子保健、住民主体の健康づくりグループ組織育成支援、市の健康づくり計画、高齢者及び介護家族の相談等を経験。

実務経験から得た市民の健康づくりのすすめ方、人と人を繋ぎ健康づくり・地域づくりへと発展させていくことの大切さを習得する。

「思い」を科学することを基本に保健・医療・介護の総合ネットワークをめざすため、知識を深め対話を通じての共通基盤づくりを習得する。

【学生へのメッセージ】

健康な地域づくり型保健活動の基本となる大切な講義です。新聞等の情報にも目を向け自主的に学習するとともに、積極的な発言により楽しく学びましょう。